**日本バイオスティミュラント協議会　 第2回講演会**

|  |  |
| --- | --- |
| **日　 時** | 　 2019年**7**月**23**日**（火）** 11：00～17：15 |
| **会　 場** | 　東京大学　 伊藤謝恩ホール（東京都文京区）　会場へのアクセス方法は[**こちら**](https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/iirc/ja/access.html)  |

**第2回講演会 プログラム**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 開始時刻 | 内　 容 | 演　 題 | 講演者／所属 |
| 11:00 - 11:05 | 開会宣言　 会長挨拶 | バイオスティミュラント協議会について | **遠藤 昌人 会長**アリスタ ライフサイエンス株式会社 |
| 11:05 - 11:20 | BSとは | バイオスティミュラントの定義と意義 | **須藤 修 事務局長**協議会 事務局 |
| 11:20 - 12:40 | BSの技術情報 | バイオスティミュラントの規格の設定について | **西川 誠司 技術委員長** 協議会 技術委員会 |
| 11:40 - 12:00 | 海外の状況 | EUにおける新肥料法について | **和田 哲夫 技術委員**協議会 技術局 |
| 12:00 - 13:00 | 　 昼　食     |
| 13:00 - 13:35 | 環境ストレス | 化学・ペプチド制御による植物の環境ストレス適応力強化 | **関 原明 氏**国立研究開発法人理化学研究所 環境資源科学研究センター チームリーダー |
| 13:35 - 14:10 | 環境ストレス | 環境ストレスに対抗する植物イオンチャネル制御分子の探索  | **魚住 信之 氏**東北大学大学院 工学研究科 教授 |
| 14:10 - 14:45 | 活性酸素  | 根の発達に活性酸素種が果たす役割〜成長制御とストレス応答のかなめとして〜 | **塚越 啓央 氏**名城大学 農学部　准教授 |
| 14:45 - 14:55 | 　 休　憩     |
| 14:55 - 15:30 | 腐植物質 | 腐植物質とその農業利用 | **渡邉 彰 氏**名古屋大学大学院 生命農学研究科 教授 |
| 15:30 - 16:05 | 微生物 | バチルスバイオ肥料によるイネの増収減肥作用に関して | **横山 正 氏**東京農工大学 名誉教授福島大学食農学類 特任教授 |
| 16:05 - 16:40 | 施設園芸 | 栽培の現場から見た植物の環境応答 | **池田 英男 氏**大阪府立大学 名誉教授合同会社つくばGBソリューション 代表社員 |
| 16:40 - 17:15 | 微量要素 | 良食味・多収・気候変動に強い農作物の作り方（アミノ酸とケイ素など） | **渡辺 和彦 氏**一般社団法人 食と農の健康研究所理事長兼所長 |
| 17:15 - 17:30 | 　 休　憩     |
| 17:30 - 18:00 | 　 ポスターセッション （各講師との質疑応答） |
| 18:00 - 20:00 | 　 懇親会   |
| 20:00 | 　 閉　会   | **末村 泉美 副会長**OATアグリオ株式会社 |

|  |  |
| --- | --- |
|   | ※参加人数が定員に達した時点で、申し込みを終了いたします。※参加費は前払いとなりますので、事前に振込を済ませてから、お申し込みください |

申し込みは以下からお願いします。

https://www.japanbsa.com/apply/info.php